

R7	2026.03.27 公開資料
	卒業時満足度調査（令和7年度） 集計結果と報告（国際教養学部・教育学部・大学院）



1. アンケートの実施

実施日	令和8年1月26日および3月11日										
対象者	令和7年度卒業生・修了生 123人（国際教養学部 74人 教育学部 45人 大学院 4人）										
回答者	110名（回答率 89.4%）										
方法 質問 1-5	下記の7つの質問項目で、回答紙面によりアンケートを実施した。 質問1~5については、下記の5段階で評価を行った。 評点5（大変満足している）、評点4（満足している）、評点3（どちらとも言えない）、評点2（満足していない）、評点1（まったく満足していない）										
質問 6	質問6 「以下はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください。（複数回答）」 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 理論的な思考力</td> <td style="width: 50%;">6 考え方の柔軟性</td> </tr> <tr> <td>2 コミュニケーション力</td> <td>7 多文化・異文化理解</td> </tr> <tr> <td>3 物事を多角的・多面的に考える視野</td> <td>8 自ら課題を立てて、解決する力</td> </tr> <tr> <td>4 教養・知識</td> <td>9 その他</td> </tr> <tr> <td>5 専門的な知識と技術</td> <td></td> </tr> </table>	1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性	2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解	3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力	4 教養・知識	9 その他	5 専門的な知識と技術	
1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性										
2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解										
3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力										
4 教養・知識	9 その他										
5 専門的な知識と技術											
質問 7	その他、本学に特に満足したことや要望等があれば、ご記入ください。										

2. 集計結果

2.1 質問1~5の解析

	学部	評価点分布						大学・大学院	全学
		5	4	3	2	1	平均値		
質問1 本学の教育について、満足していますか。	国際教養学部	19	32	9	1	0	4.13	4.15	4.15
	教育学部	11	31	3	0	0	4.18		
	大学院	2	1	1	0	0	4.25		
質問2 学友との出会いに満足していますか。	国際教養学部	45	13	3	0	0	4.69	4.66	4.67
	教育学部	32	10	2	1	0	4.62		
	大学院	4	0	0	0	0	5.00		
質問3 学習に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。	国際教養学部	11	22	26	2	0	3.69	3.57	3.61
	教育学部	4	13	24	4	0	3.38		
	大学院	3	1	0	0	0	4.75		
質問4 就職活動・教員採用試験等への支援は十分でしたか	国際教養学部	28	20	11	2	0	4.21	4.22	4.19
	教育学部	23	11	10	0	1	4.22		
	大学院	0	1	3	0	0	3.25		
質問5 大学に入学し、4年間学んだ結果、自分の夢を実現し、大きく成長したと思いますか	国際教養学部	34	18	9	0	0	4.41	4.46	4.47
	教育学部	29	12	4	0	0	4.56		
	大学院	3	1	0	0	0	4.75		

- ・ 質問1は、本学教育の総合的な評価であり、全学平均で4.15の評価を示している。評価5 大変満足していると評価4 満足している、を合わせて、87.3% (=74/96) となった。この値は、昨年度（2024年度）の77.1%よりも10ポイント以上改善された。
- ・ 質問2の学友関係については、全学平均で4.67の高い評価を示している。
- ・ 質問3「施設・設備」の評価は全学平均3.61であり、2024年度の3.71と比べて評価が低くなっている。自由記述欄に記載されているように、駐車場や売店等への不満が挙げられている。

- ・ 質問4の「就職活動・教員採用試験等への支援」は、教育学部が4.22であり、昨年度（2024年度）の4.57に比べるとやや低下した。一方で国際教養学部は4.21であり、昨年度（2024年度）の3.34から改善された。
- ・ 質問5の「大学に入学し4年間学んだ結果、自分の夢を実現し、大きく成長したと思いますか」では、評価5と評価4を合わせて、88.2%（=97/110）の学生が”大きく成長したと回答した。この結果は昨年度（2024年度）の80.0%よりも上昇した。また、評価2と評価1と答えた学生は、全学を通して一人もいなかった。

回答	年度	評価点分布(国際教養学部、教育学部、大学院)					
		5	4	3	2	1	平均値
質問1	2023年度	32	42	16	5	7	3.85
	2024年度	32	42	19	3	0	4.07
	2025年度	32	64	13	1	0	4.15
質問2	2023年度	67	17	11	4	3	4.38
	2024年度	60	21	10	4	1	4.41
	2025年度	81	23	5	1	0	4.67
質問3	2023年度	67	17	11	4	3	3.23
	2024年度	22	35	30	7	2	3.71
	2025年度	18	36	50	6	0	3.61
質問4	2023年度	16	28	30	19	9	4.04
	2024年度	44	19	20	8	5	3.93
	2025年度	51	32	24	2	1	4.19
質問5	2023年度	50	23	15	8	5	4.01
	2024年度	41	36	10	7	2	4.11
	2025年度	66	31	13	0	0	4.47

2.2 質問6の解析

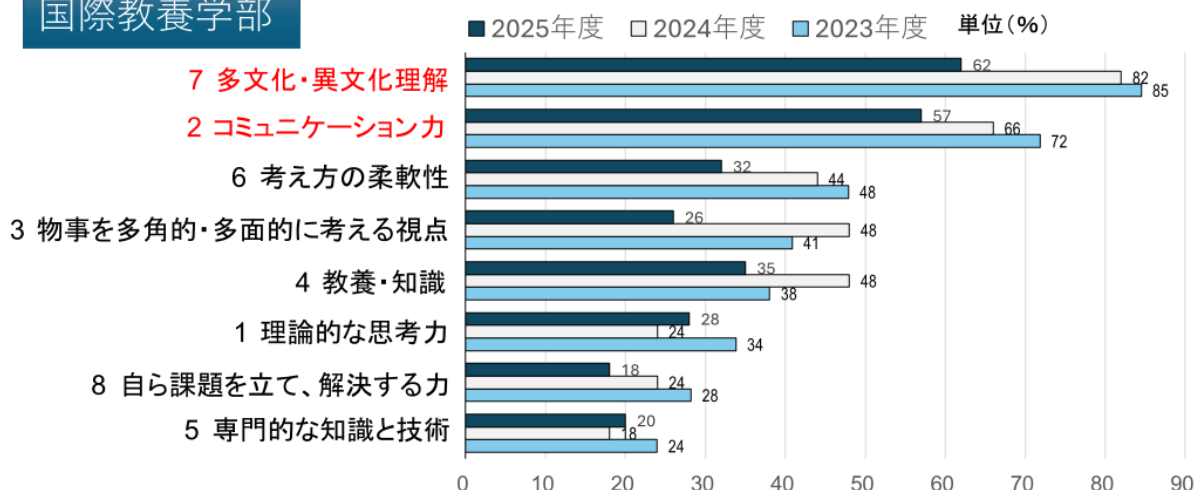
<p>質問6 以下の用語はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください（複数回答）</p> <p>1 理論的な思考力 2 コミュニケーション力 3 物事を多角的・多面的に考える視野 4 教養・知識 5 専門的な知識と技術</p> <p>6 考え方の柔軟性 7 多文化・異文化理解 8 自ら課題を立てて、解決する力 9 その他</p>

回答	選択項目	割合(%)							
		1	2	3	4	5	6	7	8
国際教養学部	2023年度	34%	72%	41%	38%	24%	48%	85%	28%
	2024年度	24%	66%	48%	48%	18%	44%	82%	24%
	2025年度	28%	57%	26%	35%	20%	32%	62%	18%
教育学部	2023年度	23%	57%	60%	53%	73%	30%	27%	30%
	2024年度	22%	57%	48%	50%	70%	48%	24%	41%
	2025年度	22%	67%	62%	78%	69%	51%	22%	49%

- ・ 国際教養学部では、「7 多文化・異文化理解（62%）」「2 コミュニケーション力（57%）」が例年並みに高くなった。しかし、2023年度、2024年度に比べると数値は減少傾向にある。
- ・ 「5 専門的な知識と技術（20%）」「8 自ら課題を立てて、解決する力(18%)」「1 理論的な思考力(28%)」は、ここ数年、低下傾向にある。また、「3 物事を多角的・多面的に考える視点」

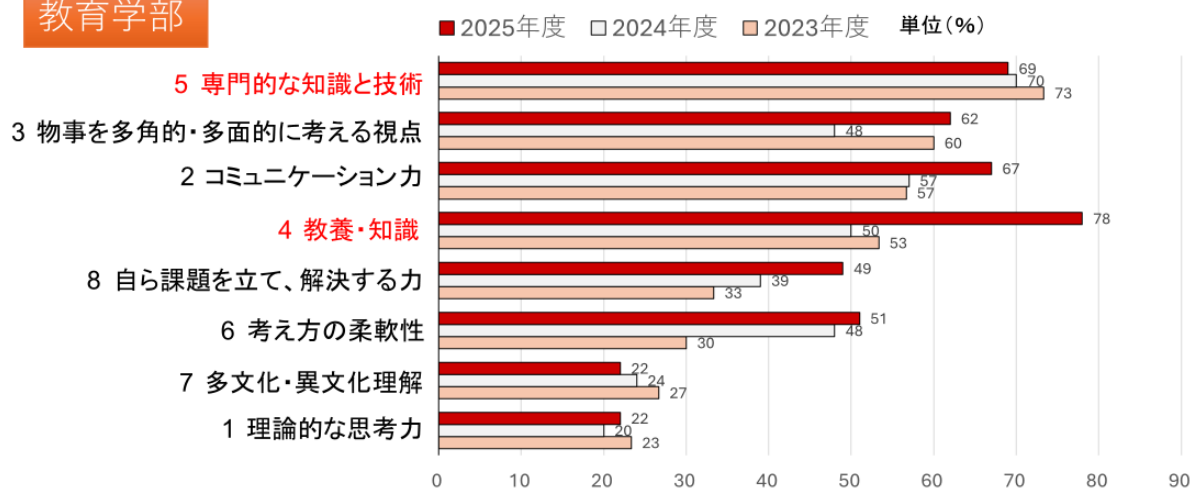
(26%)」についても今回調査で 30%以下となった。

国際教養学部



- ・ 教育学部では、「4 教養・知識 (78%)」が最も高くなった。また、昨年度まで最も高かった「5 専門的な知識と技術 (69%)」についても高い値となっている。
- ・ 「2. コミュニケーション力 (67%)」「3. 物事を多角的・多面的に考える視野 (62%)」についても、昨年度 (2024 年度) と比べて 10 ポイント以上改善された。
- ・ 「8 自ら課題を立てて、解決する力 (49%)」「6 考え方の柔軟性 (51%)」については、ここ 3 年間で増加している、一方で、「7 多文化・異文化理解 (22%)」については、ここ 3 年間で微減している。「1 理論的な思考力 (22%)」についても低くなっている。

教育学部



- ・ 質問 6 で、「9 その他」と回答した学生が教育学部で 1 名おり、その記述内容は「実践力」であった。